

<第4212回>

目的地：赤坂山（湖北）

担当者：松岡

実施日：2022年1月29日（土）

形式：雪山ハイキング

費用：¥4,400.-

参加者：7名

天気：曇り

行程：

[JR]大阪(6:39) 快速 米原行⇒(7:13)京都(7:24) 湖西線 永原行⇒(8:40)マキノ

[高島コミュニティバス(湖国交通)]マキノ(9:06)⇒(9:27)マキノ高原温泉さらさ<160m>(9:50)→(10:10)登山口(マキノスキー場)→(11:30)武奈の木平<昼食>→(13:10)栗柄越手前の鉄塔 ※無念のリタイヤ

上り3時間20分

鉄塔(13:25)→(14:20)武奈の木平→(15:25)登山口→(15:35)マキノ高原温泉さらさ 下り2時間10分

[高島コミュニティバス(湖国交通)]マキノ高原温泉さらさ(16:21)⇒(16:39)マキノ

[JR]マキノ(16:50)⇒(17:59)京都⇒(18:27)大阪

感想：

マキノスキー場に到着すると、積雪は80cmありましたが、新雪はなく、前日までの踏み固めた後で雪は重い状態でした。迷いましたが、登りは練習もかねて、ワカンを装着しました。きちんと装着できているかベアで確認し、いざ出発。出発早々、白神さんのスノーシューが壊れるアクシデントがあり、白神さんはアイゼンに変更。トレースはばっちりあり、登山者も5パーティあり、赤坂山は人気のある雪山なのだと思います。天候は曇りで風もなくて暖かく、5合目の武奈の木平まで、平常の1.5倍ぐらいのコースタイムで順調に進むことができました。休憩時間は短めで、チョコなどでカロリーを摂取することを心掛けました。ただ、皆さん、凍傷になるといけないので、素手はダメとわかってはいても、手袋を外してしまっていました。5合目からは少し雪が深くなり、松岡がショートカットのため、急坂を選択しましたが、渡辺先生から、落ちたら危険と指導が有りました。反省です。雪山は、登山道が見えず、雪でどこでも通れるので複数の踏み跡があり、どちらのルートに行けばよいか、とても判断が難しいと痛感しました。13時の時点で、稜線の栗柄越の一步手前の鉄塔で、参加者の残りの体力を考え、撤退することにしました。下りは、雪で滑らないように、アイゼンを装着。白神さん持参のソリで、急斜面を雪滑りして、みんなでキャッキヤと大はしゃぎしました。とても楽しい雪遊びができました。参加者の皆さん、ありがとうございました。